

小学校区を構成する町丁目	公津の杜一丁目、公津の杜五丁目、公津の杜三丁目、公津の杜四丁目、公津の杜二丁目、公津の杜六丁目、江弁須、飯仲、飯田町
--------------	--

		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		1.41 (km <sup>2</sup> )	213.84 (km <sup>2</sup> )	0.66 (%)	
人口・家屋の分布状況	人口	9,816 (人)	132,404 (人)	7.41 (%)	
	人口密度	6,940.08 (人/km <sup>2</sup> )	619.17 (人/km <sup>2</sup> )	—	
	男女別人口	男	4,659 (人)	66,487 (人)	7.01 (%)
		女	5,157 (人)	65,917 (人)	7.82 (%)
	世帯数	876 (世帯)	27,819 (世帯)	3.15 (%)	
	0歳以上～15歳未満	4,477 (人)	59,910 (人)	7.47 (%)	
	15歳以上～65歳未満	2,001 (人)	18,647 (人)	10.73 (%)	
	65歳以上～	6,939 (人)	85,938 (人)	8.07 (%)	
	65歳以上の独居者	21 (人)	1,107 (人)	1.93 (%)	
	避難行動要支援者	92 (人)	2,279 (人)	4.03 (%)	
外国人居住者	230 (人)	3,977 (人)	5.80 (%)		
建物分布状況	建物棟数	1,640 (棟)	56,677 (棟)	2.89 (%)	
	木造(S55以前)	43 (棟)	13,866 (棟)	0.31 (%)	
	木造(S56以降)	1,198 (棟)	29,933 (棟)	4.00 (%)	
	RC・SRC造	80 (棟)	2,236 (棟)	3.59 (%)	
	S造	313 (棟)	9,453 (棟)	3.31 (%)	
	その他	6 (棟)	1,189 (棟)	0.46 (%)	
密集度	1,159.21 (棟/km <sup>2</sup> )	265.04 (棟/km <sup>2</sup> )	—		

自主防災組織結成状況	組織数	5	世帯数	795	結成率	0.91 (%)
------------	-----	---	-----	-----	-----	----------

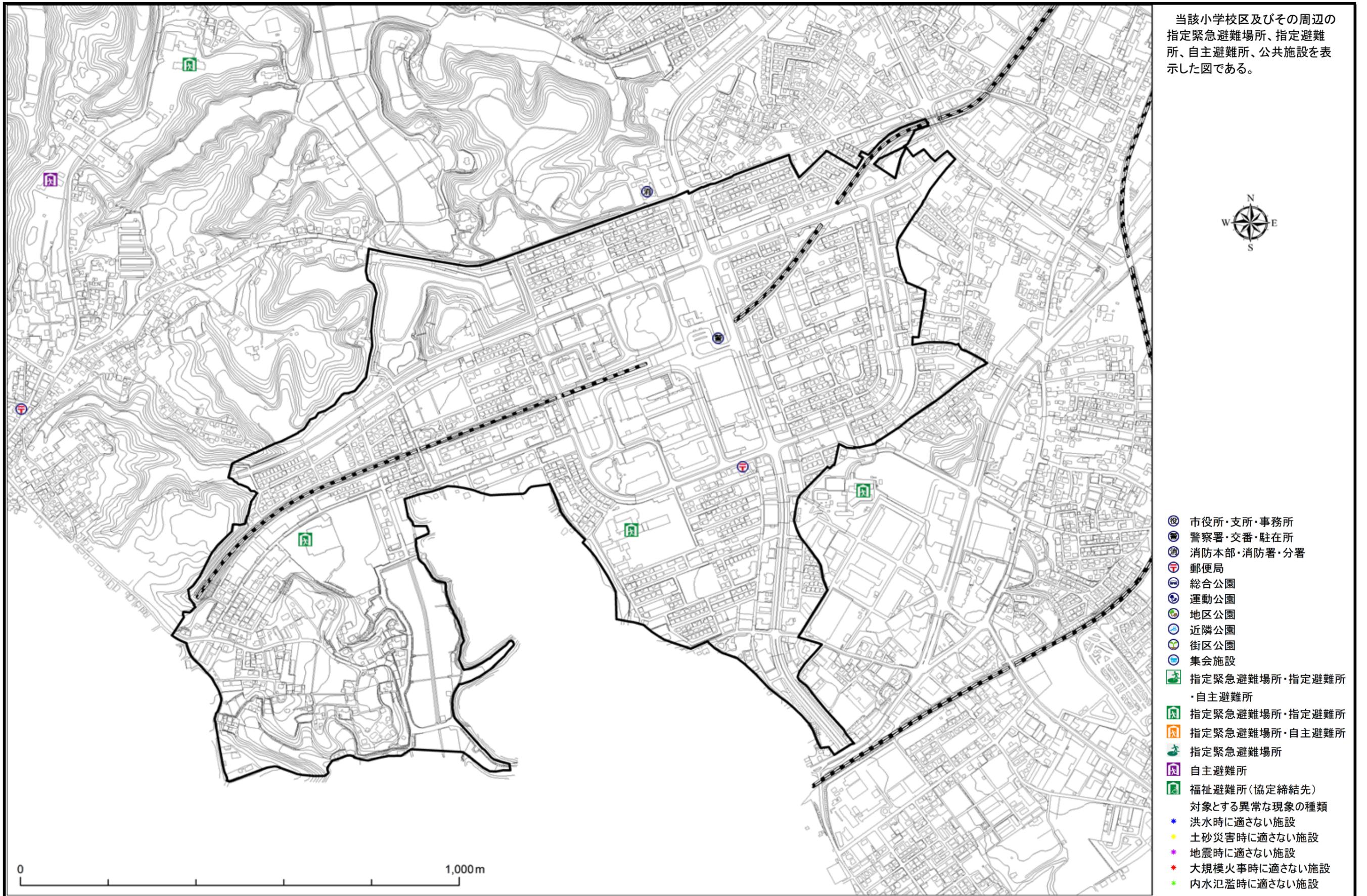
防災関連施設	消防本部・消防署・分署	—					
	消防団	第2分団第7部					
	警察署・交番・駐在所	公津の杜交番					
	市役所・支所・事務所・集会所等	—					
		種別	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
	防災井戸	0	給水栓	2	給水拠点	1	
	防災倉庫	2	資材置場	0	水防倉庫	0	
	消防団器具庫	1	AED設置施設	6	災害拠点病院	0	
	病院・診療所	10	歯科医院	6	福祉施設	4	
	保育所・幼稚園等	2	水位観測所	0	雨量観測所	0	
	防災行政無線屋外子局	5	ヘリコプター臨時離着場	0	ドクターヘリ臨時離着場	1	
	震度計	0	郵便局	1	公園	9	

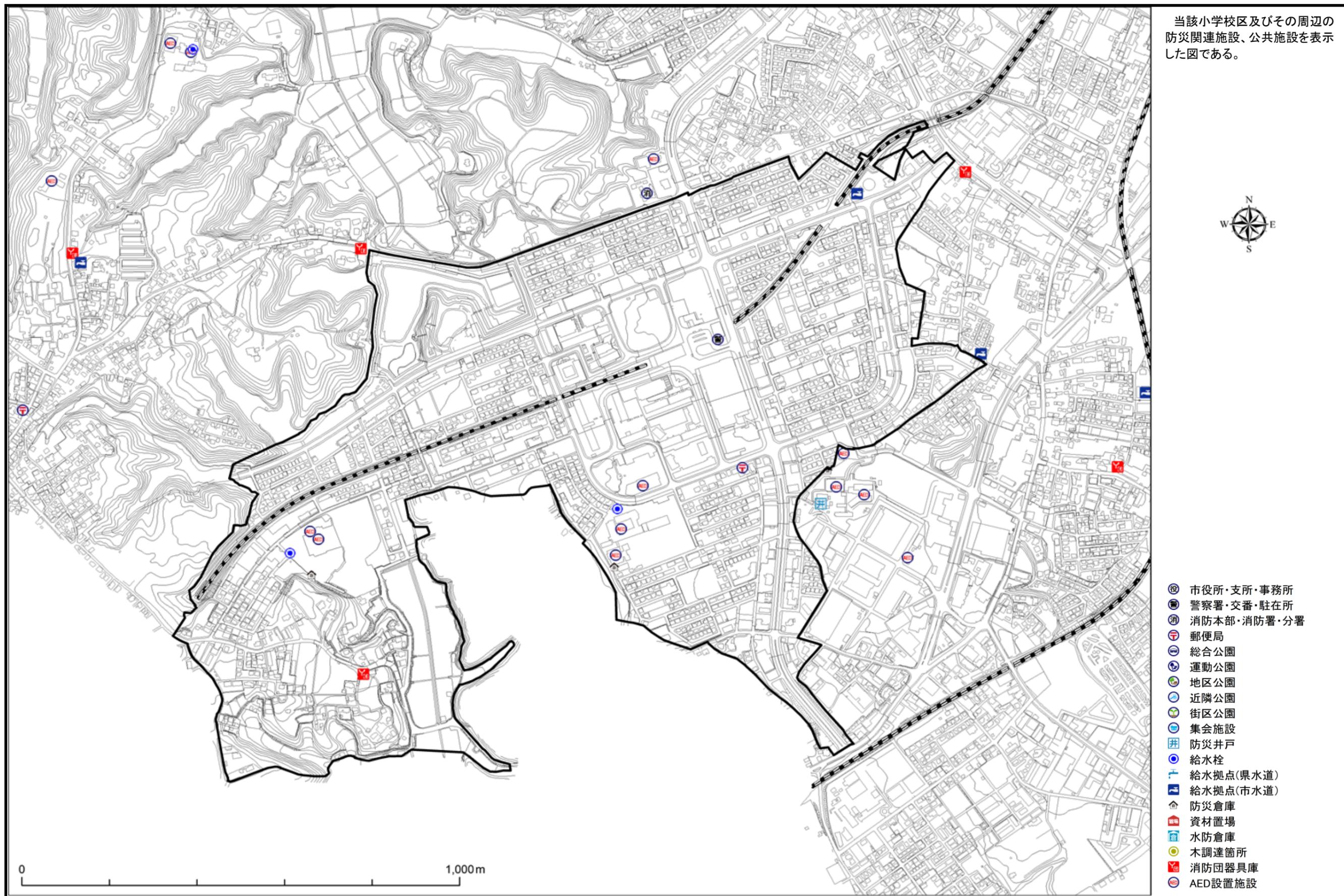
避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
●	●				公津の杜小学校	2,567	226
●	●				公津の杜中学校	3,264	380
収容人数合計						5,831	606

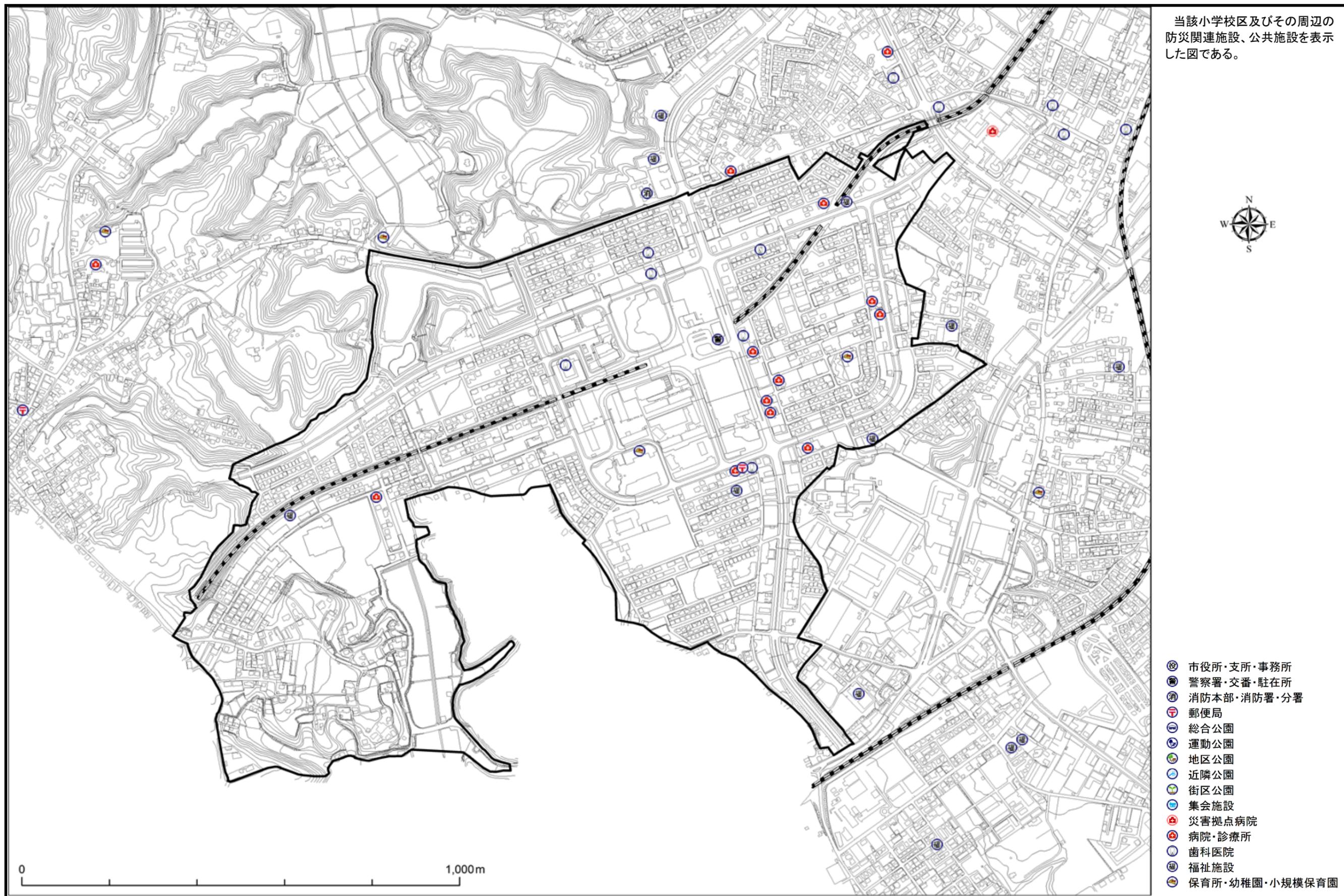
洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km <sup>2</sup> )	0.00	38.43	0.00%	0.00	16.17	0.00%
浸水する建物数(棟)	0	5,565	0.00%	0	1,428	0.00%
避難の対象者数(人)	0	6,025	0.00%	0	2,238	0.00%

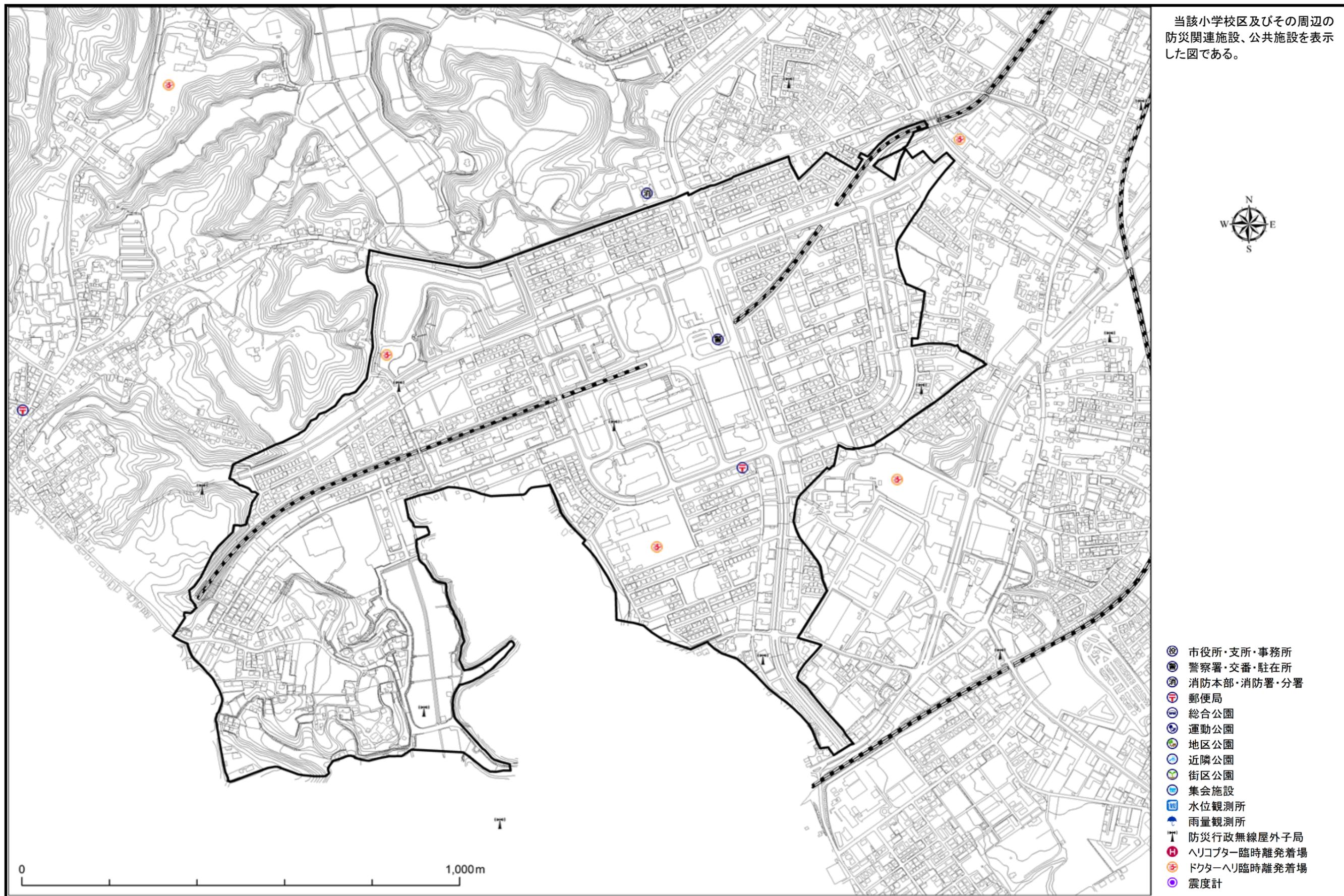
土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
急傾斜地崩壊危険箇所	0	0	0	0	0	0	0	0
土砂災害警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
うち特別警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
山腹崩壊危険地区	0	0	0	0	0	0	0	0

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度								
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL					
面積(km <sup>2</sup> )	0.00	0.00	1.41	0.00	0.00	1.12	0.30	0.00	0.00					
建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
木造 全壊	5	1,779	0.27%	死者数	0	16	0.38%							
木造 半壊	31	5,752	0.54%	負傷者数	7	1,471	0.50%							
非木造 全壊	2	300	0.55%	重傷者数	1	198	0.30%							
非木造 半壊	1	232	0.41%	軽傷者数	7	1,273	0.53%							
出火件数	0	5	3.63%	要救助者数	4	66	6.26%							
焼失棟数	0	17	2.42%	避難者数	2,594	18,189	14.26%							
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
断水人口	2,907	37,668	7.72%	支障人口	411	3,341	12.31%							

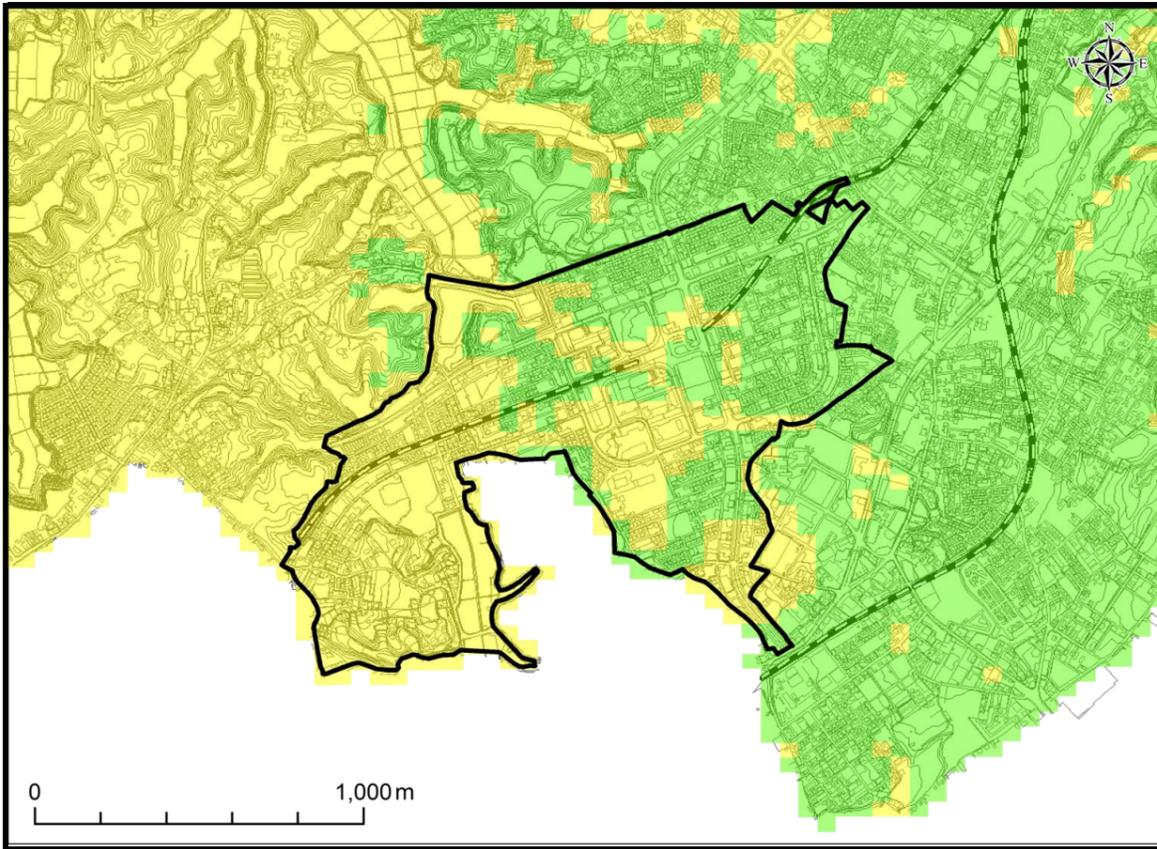




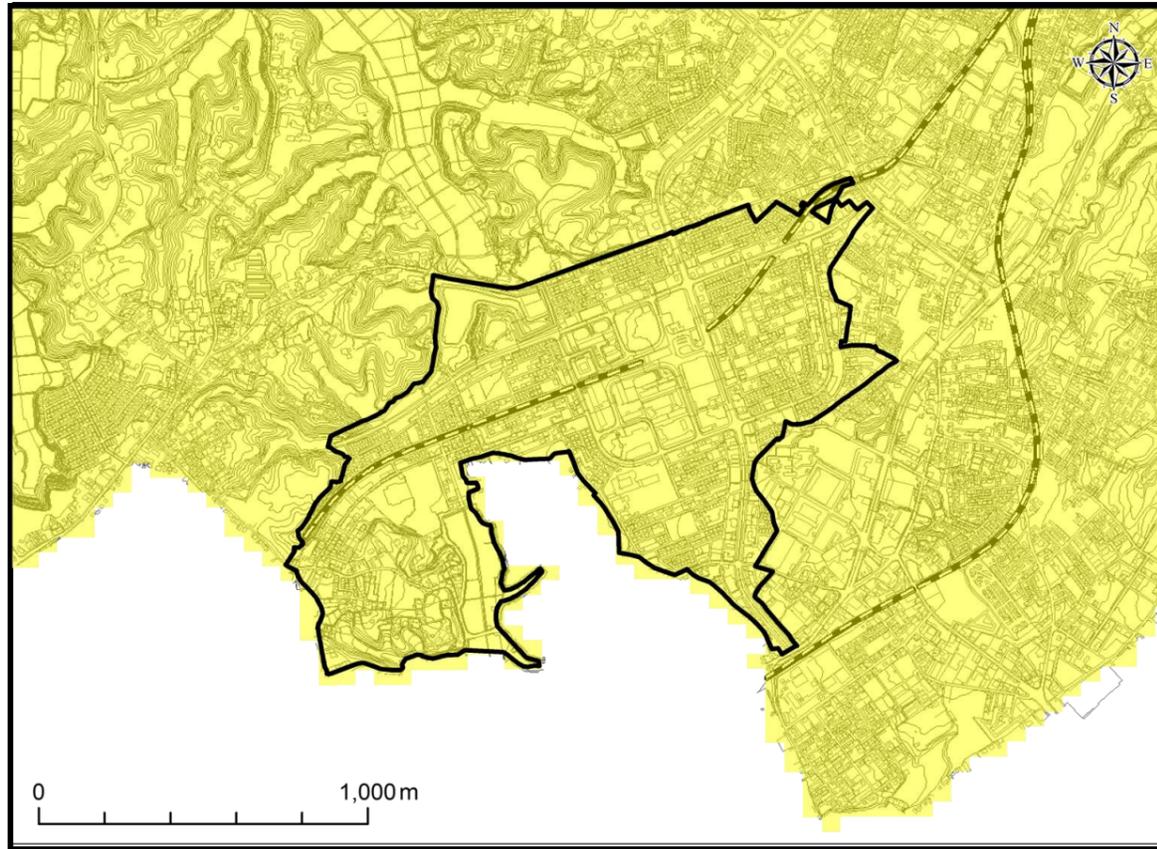




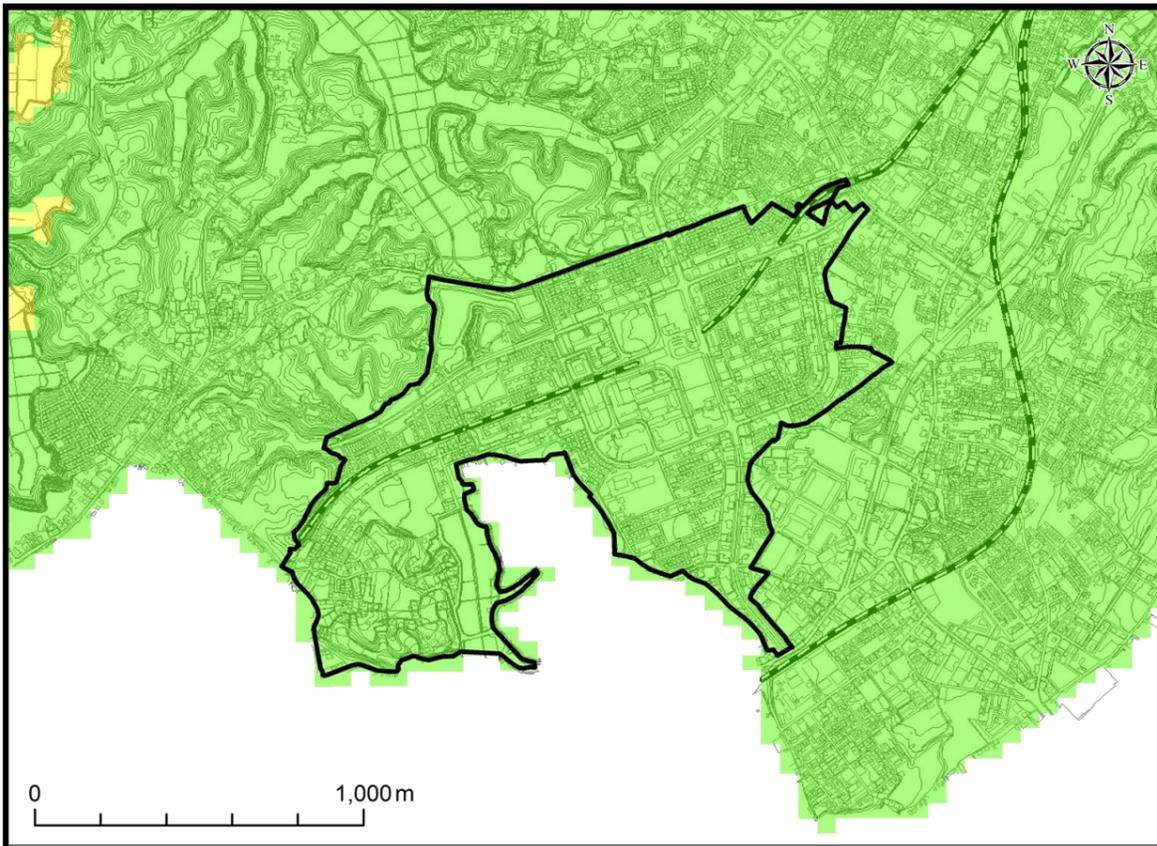
●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)



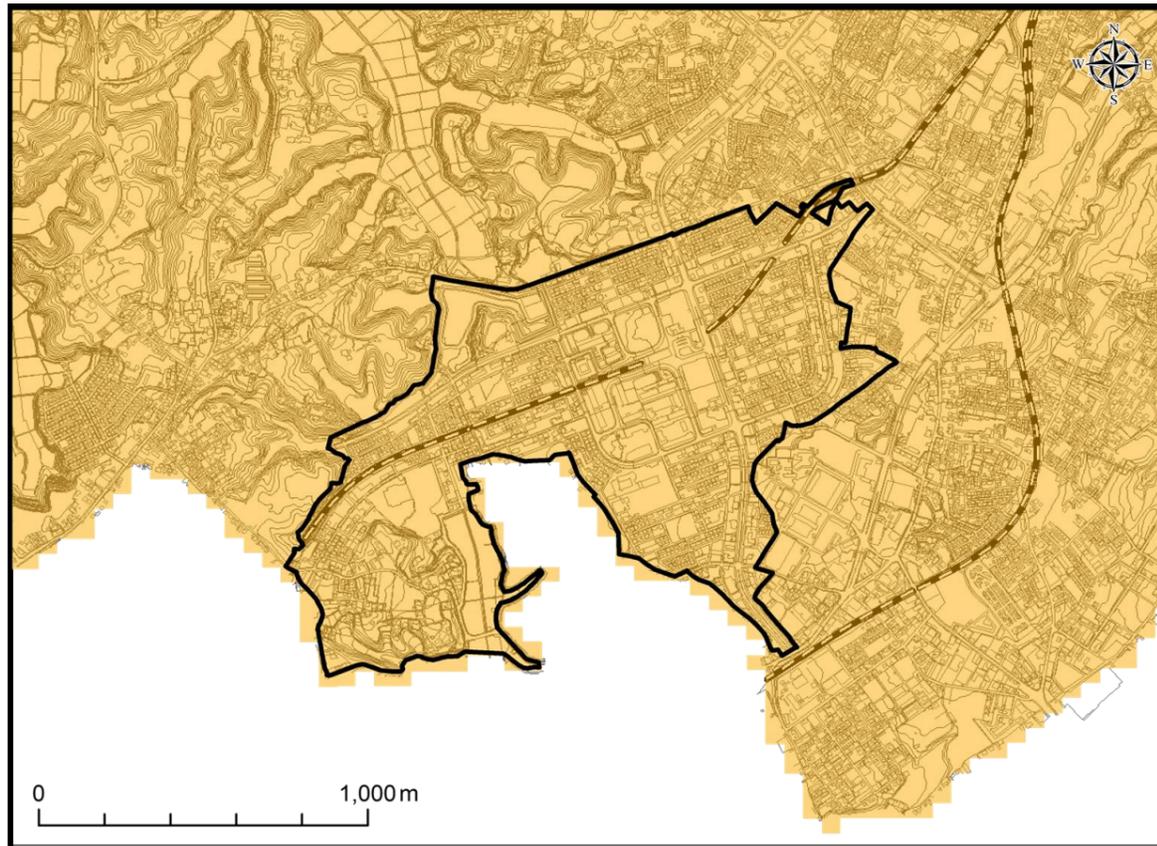
●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)



●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)



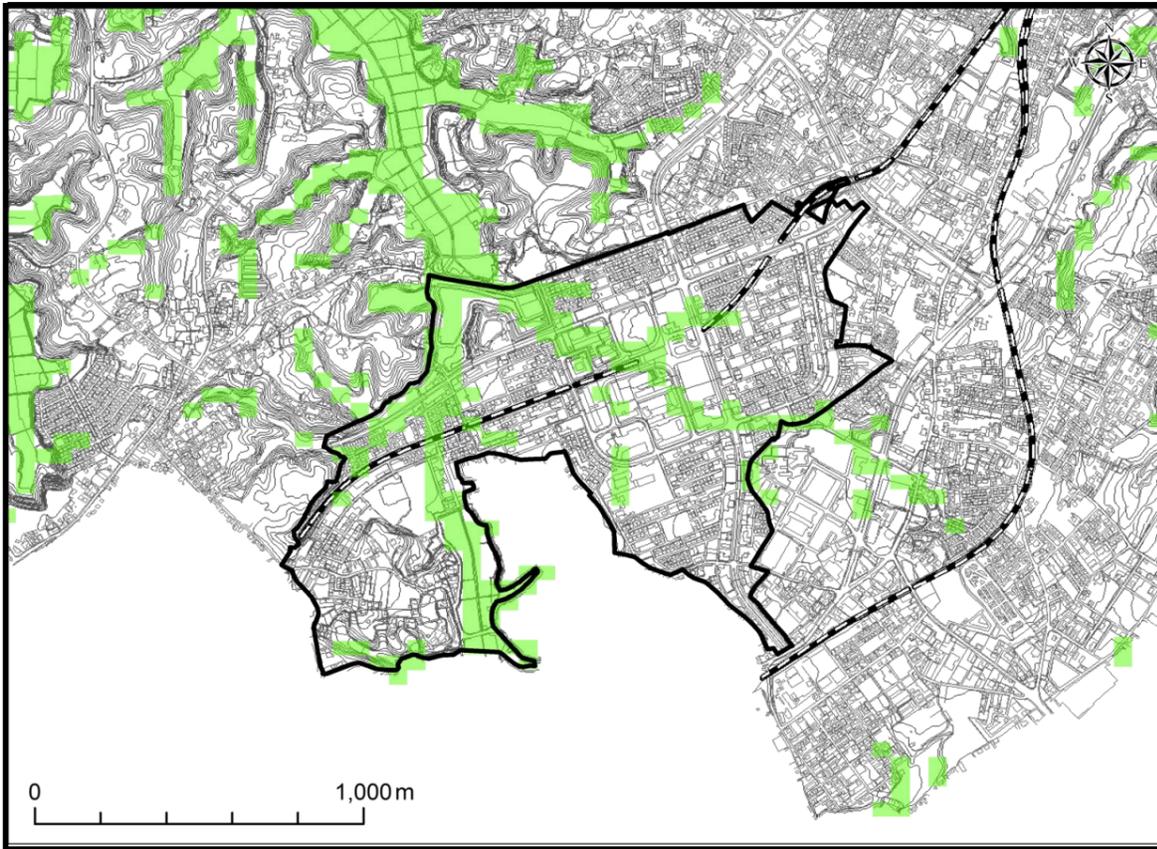
●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)



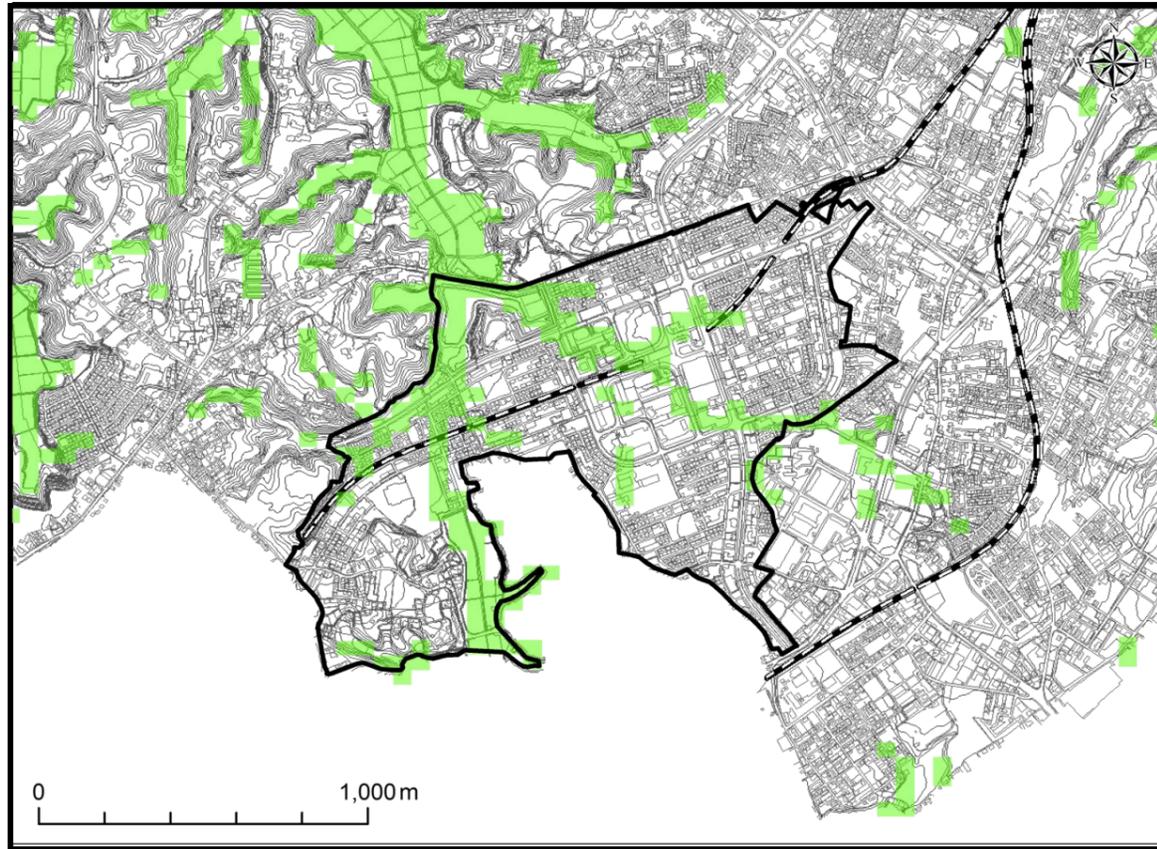
当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。  
 なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

- 凡例  
 震度階級  
 5強  
 6弱  
 6強  
 7

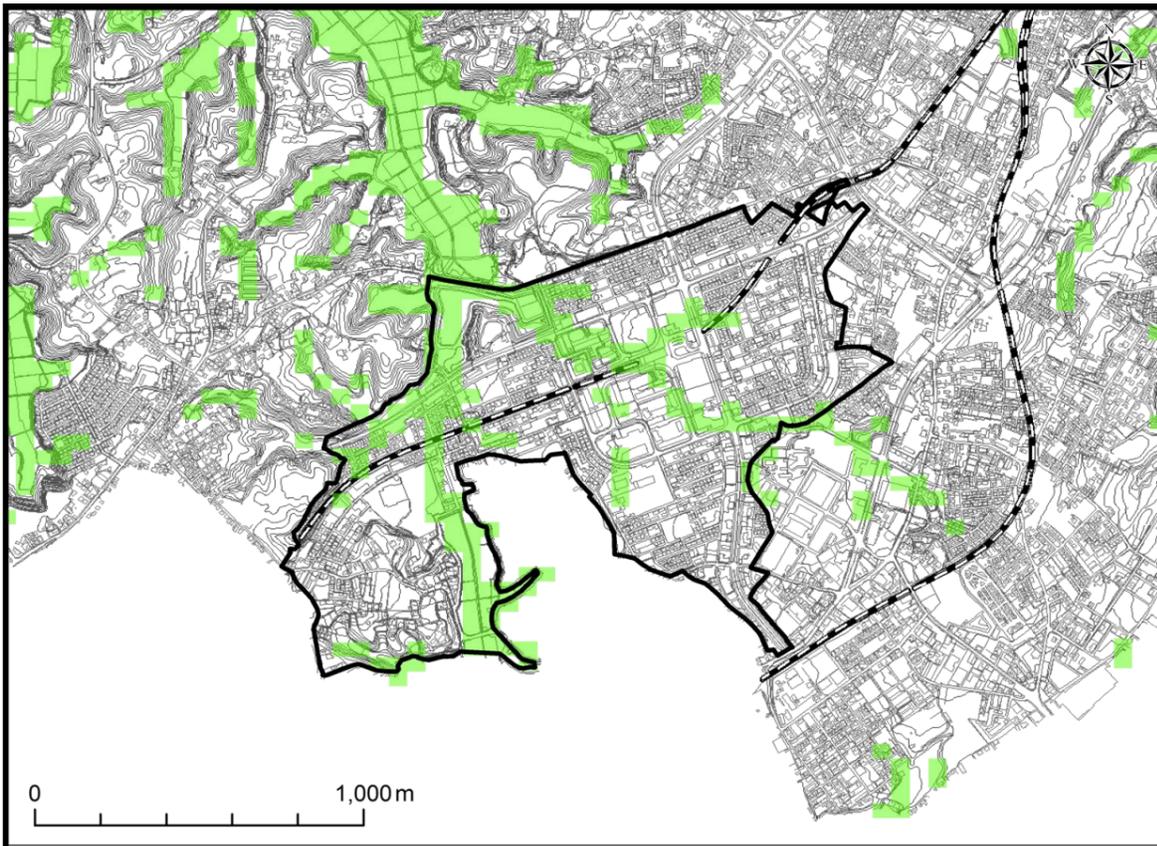
●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)



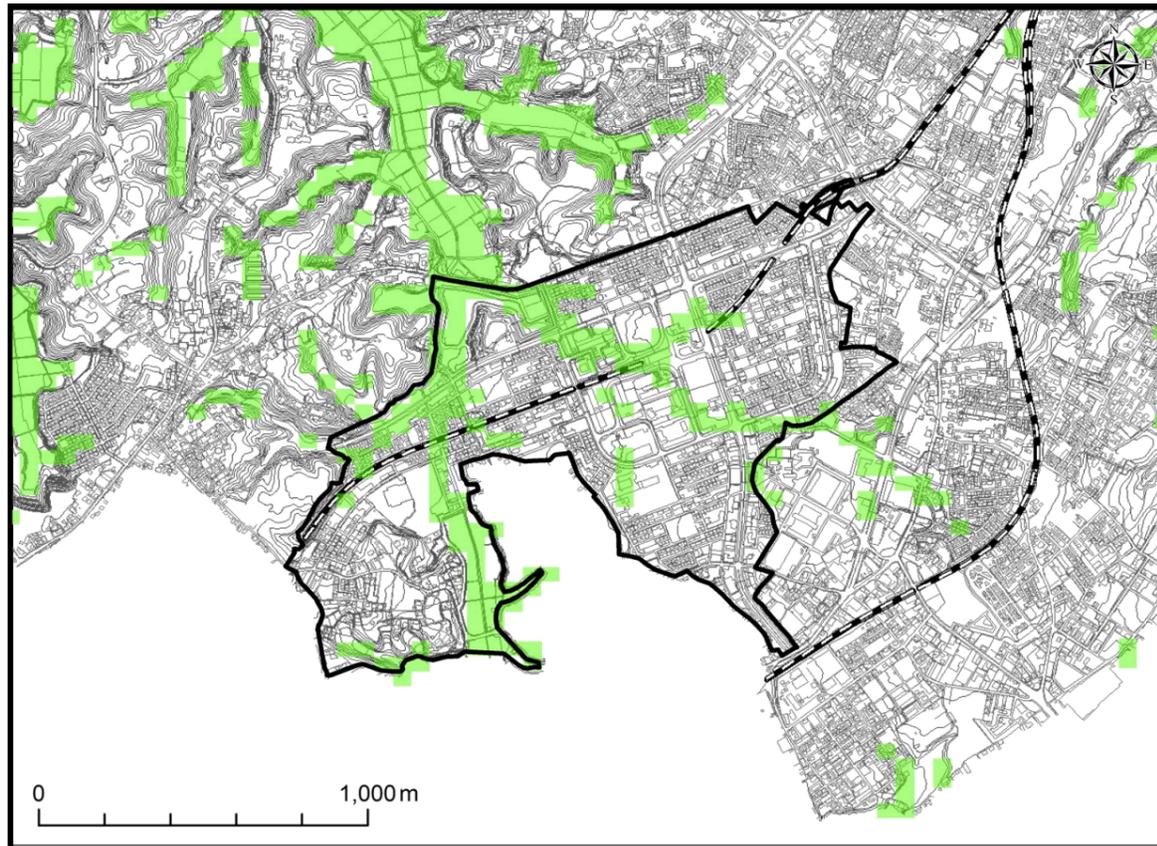
●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)



●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)



●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

凡例

PL値

15 < PL

5 < PL ≤ 15

0 < PL ≤ 5

PL = 0

